

## 高齢者分科会

## 【平成 28 年度の活動報告について】

**1. 介護予防・日常生活支援総合事業の充実と住民主体の活動の支援**

介護予防・日常生活支援総合事業は、多様な社会資源やマンパワーを活用し、生活支援及び介護予防を総合的に行っていく事業です。平成 28 年 3 月には現行の介護予防訪問介護と介護予防通所介護を移行し、4 月からは、住民主体の担い手による訪問型のサービスとして家事支援サービスを開始しました。同時に、本事業を利用する際、介護サービス事業所職員と外部有識者、行政が支援の方向性を確認する目標設定会議を実施し、自立支援のためのサービス提供につながるよう努めています。さらに、軽度な支援が必要な方向けの人員基準等を緩和した通所型サービスの検討を実施しました。

一般介護予防事業においては、住民向けの担い手養成講座の実施や、まちづくり協議会等と協議し、地区会館等で行う地域型元気はつらつ塾をあらたに 5ヶ所実施しました。

**2. 小規模多機能型居宅介護事業所整備の検討**

第 6 期計画において、3ヶ所の整備を行う計画でしたが、高齢者の多い地区や介護事業所が少ない地区を優先し、事業所職員の確保状況を鑑み 2ヶ所の整備を行いました。

**3. 地域包括支援センターの機能強化**

地域包括支援センターの機能強化とニーズ対応できる体制づくりとして、地域包括支援センターブランチを平成 27 年度の 6ヶ所に続き、平成 28 年度も公募により 5地区（5ヶ所）に設置し、地域福祉コーディネート業務を市内の地域密着型サービス事業所に委託しました。

**4. 在宅医療・介護連携の推進**

加賀市医療センターの「地域連携センターつむぎ」内に地域包括支援サブセンターを併設し、在宅医療コーディネーター、相談員とともに市内医療機関、介護サービス事業所などからの相談対応や連携の橋渡しを行い、急性期・回復期の医療を担う病院と退院後の在宅医療を担う診療所や介護事業所等とが情報を共有し、それぞれ役割を分担・連携しながら市民にとって最も適切な在宅医療・介護サービスを提供できる体制づくりを推進しました。

**5. 認知症の理解と支援体制の充実**

認知症に対する早期対応の仕組みづくりのため、認知症初期集中支援チーム設置検討会を設置し、多職種による検討を行いました。認知症ケアパスの取り組みとしては、「わたしの暮らし手帳」に医療面から見たページの追加を行い、手帳を作成し、住民と地域包括支援センターブランチと共に寸劇をとおした啓発普及を行っています。

## ○第 1 回健康福祉審議会高齢者分科会（平成 28 年 6 月 23 日）

審議内容：1. 役員選出について

報告内容：2. 高齢者お達者プランの実績について

(1) 介護保険事業計画第 6 期 1 年目の実績について

(2) 高齢者福祉計画第 6 期 1 年目の実績について

審議内容：3. 平成 28 年度地域密着型サービス事業所整備の公募について

報告内容：4. 地域包括支援センターの運営について

(1) 平成 27 年度の実績について

(2) 人員配置について

(3) 平成 28 年度のブランチ公募について

審議内容：5. 介護予防支援委託事業者の報告について

○第2回健康福祉審議会高齢者分科会（平成28年9月8日）

- 報告内容：1. 包括支援センターランチの報告について  
報告内容：2. 地域型元気はつらつ塾の報告について  
審議内容：3. 地域密着型サービス事業者の選定について

○第3回健康福祉審議会高齢者分科会（平成29年2月23日）

- 報告内容：1. 平成29年度予算案と平成28年度実績見込みについて  
報告内容：2. 平成29年度の重点事項について  
    (1) 認知症施策について  
    (2) 加賀市シニア活動応援事業について（案）  
    (3) 基準緩和型の通所サービスについて  
審議内容：3. 地域密着型サービスについて  
報告内容：4. 第7期計画について

**【平成29年度の活動計画について】**

**●重点事項**

**1. 認知症施策について**

認知症の疑いのある人の早期発見と適切な支援が必要なことから、認知症初期集中支援チームで支援方針の決定をし、医療と介護が連携して認知症の人とその家族の支援を行います。また、認知症の人の意思決定の支援のための認知症ケアパス（わたしの暮らし手帳）の啓発について、試行の結果を踏まえ、住民と地域包括支援センター、地域包括支援センターランチが合同で啓発普及活動を行います。

**2. 加賀市シニア活動応援事業について（案）**

高齢者の活躍の場の仕組みづくりとして、元気な高齢者の活躍の場を整備するとともに、地域で必要とされる生活上の支援と人材をマッチングする体制を構築することを目的とし、NPO等によるシニア活動応援検討会を設置します。検討会を定期開催することで、インフォーマル情報相談窓口としての機能や、人材・団体の発掘（養成講座の紹介・実施）を行い、インフォーマル活動のネットワークを構築していきます。

**3. 基準緩和型の通所サービスについて**

平成28年度におこなった事業所へのヒアリングやアンケートなどから、どのような通所サービスが必要かを見極め、現行型の通所サービスから基準を緩和した基準緩和型通所サービスを実施します。

○第1回健康福祉審議会高齢者分科会（平成29年4月開催予定）

- 審議内容：1. 役員選出について  
報告内容：2. 平成28年度高齢者お達者プランの報告について  
    (1) 介護保険事業計画の実績  
    (2) 高齢者福祉事業の実績  
報告内容：3. 国の動向報告（制度改正に関する情報整理）

○第2回健康福祉審議会高齢者分科会（平成29年6月開催予定）

- 報告内容：1. 介護保険サービス供給量調査について（介護保険事業所調査）  
報告内容：2. 介護保険サービス量の見込みについて  
報告内容：3. 市民アンケートについて  
報告内容：4. 市民意見交換会について

○第3回健康福祉審議会高齢者分科会（平成29年9月開催予定）

- 報告内容：1. 介護保険給付分析とサービス見込み量について

○第4回健康福祉審議会高齢者分科会（平成29年11月開催予定）

審議内容：1. 高齢者お達者プラン（案）について

(1) 給付見込みと保険料について

(2) 保険料多段階化設定、低所得者対策、利用者負担変更について

(3) 高齢者施策について

○第5回健康福祉審議会高齢者分科会（平成30年1月開催予定）

審議内容：1. 高齢者お達者プラン（最終案）について

**【資料等】**